

2020年11月26日

各位

ENEOSホールディングス株式会社

障がい者の活躍支援に取り組む国際イニシアチブ「The Valuable 500」に賛同

当社（社長：大田 勝幸）は、障がい者の活躍支援に取り組む国際イニシアチブである「The Valuable 500」に賛同し、このたび大田社長が加盟文書に署名・参加表明したことをお知らせいたします。



署名した加盟文書を持つ当社大田社長

The Valuable 500は、2019年1月に世界経済フォーラム年次総会（通称「ダボス会議」）において発足した、障がい者の活躍推進に取り組むイニシアチブです。「インクルーシブなビジネスはインクルーシブな社会を創る」という考えのもと設立され、障がい者がビジネス、社会、経済にもたらす潜在的な価値を発揮できるような改革をビジネスリーダーが起こすことを目的としています。11月20日時点で世界の349社の企業が賛同を表明しており、国内では26社目の賛同となります。



当社はこの取組みに賛同するにあたり、以下の具体的なアクションを定めました。

1. 障がい者雇用率について、重点課題として目標を定め維持・向上させていく
2. 障がい者が長期的に安定して働いていけるよう、定着支援体制の充実を図っていく
3. 社員のダイバーシティ&インクルージョンへの理解を深めるための取組みを行い、障がい者を含めた誰もが活躍できる職場環境を構築する

また、当社は障がい者のインクルージョンに関連して、以下のような施策を展開しています。

施策	内容
職場適応への支援	障害者職業生活相談員や職場適応援助者（ジョブコーチ）を設置する等、職場適応への支援を行っています。
障がい者スポーツの振興・発展に向けた取組み	グループ主要企業であるENEOS（株）は、日本車いすバスケットボール連盟や日本デフバスケットボール協会、また日本身体障害者野球連盟等への協賛を通じて、障がい者スポーツを積極的に支援しています。
障がいに対する社員の理解の醸成	ダイバーシティ&インクルージョンに関する周知・啓発を目的とした社内報「いきいき通信」を発行しており、障がいの類型や障がいに関連する国内外の法制度などについて社員の理解を促進しております。

当社は、これからもダイバーシティ&インクルージョンを積極的に推進し、従業員一人ひとりがいきいきと働くことのできる環境を整えると共に、継続的な企業価値の向上を図り、社会の発展と活力ある未来づくりに貢献してまいります。

以上